

# ばら通信

2011.03.15発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5

☎018-828-7750 Fax018-828-8185

「ことば」の教室  
社会福祉法人グリーンローズ オリーブ園  
インクル

## NEWS

### 大地震！ 卒園式！！



## 大地震！！

2011年3月11日この「ばら通信」を出そうとしている最中に、大きな地震が来ました。これが太平洋岸だったらかなり大きな地震だと感じました。数日前に太平洋岸での地震があったからです。あまりの巨大地震でした！！被災され亡くなられた方々に深い哀悼を。そして、まだ救出されていない方々の速やかな救出を願います。そして被災された地域の復興のために多くの方々の力を結集していきましょう。出来る事をしていきましょう。

## 卒園にあたって

オリーブ園 施設長 後藤 進

平成22年度がもう終わりを告げようとしております。あの暑い夏、そして豪雪とがありました。なんとか春を迎えようとしています。何度か春を迎えても、新しい希望が胸にふくらむ心の中に、一抹の哀しみもまたひっそり姿を見せるのも、卒園という希望と別れがあるからに違いありません。

新しい世界に出て行くのは、当然のことのように希望です。豊かな世界に元気に足を踏み入れてほしいとみな願っています。それと同時に、ここから巣立って行くのを見守りながら、残されていくという感傷もまた事実です。巣立った子どもたちが他の子どもたちと分け隔てなく過ごすことができるだろうか？地域社会の中でしっかり受け入れられていけるだろうか？学習は？友達は？先生たちとは？今の学校を考えると次から次と思いが浮かんできます。

学校がもっともっと開かれていくことを願っています。子どもは子どもです。みな同じように受け入れて行く方向を目指してもらいたいです。子どもが成長し、就学する時期を迎えた時、ここに通う多くの保護者の方々が悩み、苦しみます。その心のうちを考えると胸が痛くなります。なぜでしょうか。また、こうした保護者の胸の内は制度を作っている場所に届いているのでしょうか。

内閣府の制度改革推進会議が、第1次意見書、第2次意見書を出しました。その中には明らかにインクルーシヴ（分けない）方向性が書かれています。しかし、こうした議論の後に出された「障害者基本法の改正について(案)」を見ますと、教育の部分について改革推進会議の意見はほとんど反映されず、従来の文言とほとんど変わっておりません。激しい議論が交わされているということです。もうそろそろ、私たちは分離の構造から抜け出さなければなりません。大きな話のように聞こえるかもしれませんが、それは、私たち全ての人間の問題だからです。

就学期を迎え、公の「学校」という世界に入っていく子どもたちとその保護者の方々へ。

子どもたちとともに、家族とともに、  
地域とともに、世界のすべての子どもたちとともに、  
そしてそれは、ただあたりまえのこと。

*Better Education for All When We're included Too  
Inclusion international*

### ご連絡

卒園式 平成23年3月26日(土) 午前10時～

卒園式には、ぜひ在園の子どもたちにも参加していただきたいと願っています。在園のグループの子どもたち、ルーテル愛児幼稚園の子どもたち、外部の幼稚園の子どもたち、誰もが参加できますので、ぜひ参加をお勧め致します。卒園の子どもたちが元気に挨拶をしたり、卒園証書をもったりする場面を見ていただきたいと願っています。

### ご連絡

児童デイサービス「インクル」は、新年度に体制の変更を皆様にお願ひしました。変更する方々には説明致しましたが、お話を聞きたい方は担当にお申し付け下さい。また、平成24年4月から新たに制度が変わります。「放課後等デイサービス」に変わります。細かな面はこの1年で決められて行くと思います。更に平成25年8月から「総合福祉法(案)」としてさらに改定される予定となっています。

何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail olive@kodomosekai.com  
ホームページ http://www.kodomosekai.com